

徳島県社会福祉事業団 第2次中期計画の概要

1 計画の目標と5つの挑戦

令和5年度から令和9年度までの「第2次計画」では、法人の理念である「つながれば広がる よりそい支え合う だれもが活躍できる社会の実現へ」向け、総合的な地域生活支援拠点である「ふらっと KOKUFU」の整備などの成果、あらゆる資源を活用し、次の「**5つの挑戦**」を柱として、さらなる取り組みを持続的に進める。

このため、持続可能な法人として多様な人財が長く働けるように、様々な働き方ができるダイバーシティな組織の先進化、またやりがいや喜びを感じるキャリア・パスの仕組みづくりに取り組み、自らの意思で考え行動する「自律的人財」を育成する。

そして、その人財の能力が最大限発揮できる機会を提供することで、イノベーションを生み出し、事業の充実や拡大、価値創造に繋げていく。

また、経営基盤を強化するとともに、事業所間の連携を深め災害等に対応できるリスク管理体制づくりに取り組む。

2 収支見通し

計画期間中は、各事業において安定した収入を確保し、毎年度、当期収支差額20,000千円程度を見込む。

人件費は定期昇給の実施、人員増を見込み、事業費、事務費は効果的な執行を図り、抑制する。希望の郷での多機能津波避難等施設の整備にかかる財源確保のため、危機管理等の積立金と剰余金を2.5億円確保する。

3 5つの挑戦と重点項目

挑戦1 多様なニーズに応える柔軟な福祉サービスへの挑戦

- ① 強度行動障害のある利用者の生活の質の確保（希望）
- ② 棟編成の再構築（男女の棟の入れ替え等による適切な支援）（未来）
- ③ 農業法人等と連携したノウフク連携システムの構築（ふらっと）
- ④ 「親亡き後」の相談・支援体制の構築（ふらっと）
- ⑤ ICTサポートセンターの開設（視聴覚）

挑戦2 地域における福祉課題の解決への挑戦

- ① 障がい者支援のノウハウを生かした法人後見事業の開始
- ② 保護者、地域住民が相談できる機会の創出（成年後見人制度等）（希望）
- ③ 訪問療育専門チームによる地域の療育支援（未来）
- ④ 子育てサロン・相談室の開催、ペアレントトレーニングの実施（児童デイ）
- ⑤ 点字教室・手話教室等の体験ツアー（視聴覚）
- ⑥ 県央、県西、県南においてパラスポーツを楽しめる環境整備（スポ協）
- ⑦ Tシャツデザイン商品化プロジェクト（芸文）

挑戦3 ソーシャルインクルージョンを実現するまちづくり

- ① トレーニング室の地域開放（障がい者スポーツ協会との連携）（希望）
- ② 障がいに対する理解を深めてもらうための学校への出前授業の実施（未来）
- ③ 地域の子ども等の学習支援、居場所づくり（児童デイ）
- ④ 誰もが自由に利用できるパブリックスペースを整備（総福）
- ⑤ 古民家を活用した、「ふらっとアートスタジオ」の整備計画の検討・推進（芸文）

挑戦4 事業継続のための経営基盤強化への挑戦

- ① 危機管理等目的対応積立金の計画的な積立
- ② 専門職、総合職、ICT 専門職を複数採用
- ③ 支援、療育など基本スキルと知識に関する法人内教育・研修の実施
- ④ 感染症、メンタルヘルスなど安全衛生推進体制の充実
- ⑤ 総務事務マニュアル作成、クラウドシステム導入、施設の SDGs、DX 化を促進
- ⑥ 「福祉サービス第三者評価」の受審（希望・未来・ふらっと）

挑戦5 感染症や自然災害に対応できるリスク管理体制づくりへの挑戦

- ① 津波避難等多機能ビル整備
- ② 太陽光発電や電気自動車の導入
- ③ BCMの促進及びBCP体制強化（体制構築・訓練における評価・見直し）

4 計画の進行管理

計画の実効性を高めるため、「具体的取組事項」「数値目標」「年度別の工程」を内容とする年次計画を策定し、決算状況と合わせて進捗状況を点検・評価し、理事会等において報告する。